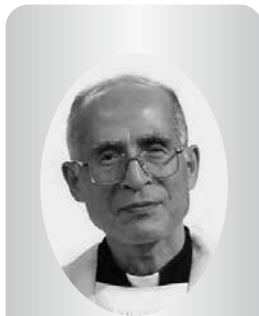


日本聖公会  
大阪教区教務局  
〒545-0053  
大阪市阿倍野区  
松崎町2-1-8  
TEL 06-6621-2179  
FAX 06-6621-3097  
発行責任者  
教務局長 司祭 原田光雄

〈HP〉 <http://www.nskk.org/osaka/index.htm> 〈e-mail〉 [office.osaka@nsk.org](mailto:office.osaka@nsk.org)

第437号 2014年6月22日発行

最近読んだ印象的な言葉があります。「神に逆らいし観面てきめんの刑罰は品性の墮落である。すなわち聖きことと高きことが見えなくなつて、卑しきことと低きこととを追及するようになることである。しかしながらこれ最も恐るべき刑罰であつて、人にとつて実はこれよりも重い刑罰はないので



## わたしは 聖霊を信じます

司祭 ヨハネ 奥 康功

るニュースは、わたしたちの心を暗くするものが大変多いと思います。最近でも、日本も近隣諸国との関係が悪化しているし、中東アジアや東ヨーロッパでは戦闘状態が続いており、アフリカにおいては200人以上の女子中学生が誘拐され売られたということです。日本においても原発事故が収

るのではないかと思えます。その不幸は「一人の指導者の心」から発しているのであり、人の心には特徴があります。それは「自己中心」「自己満足」ということです。聖書の言葉で言えば「罪」です。ここから集団や社会、国家や世界を破壊と混乱、分断と争いに陥らせる状況が生み出されて

霊なる神は、主イエス様の復活後50日目に神様から与えられた恵みの賜物です。この聖霊なる神は洗礼・堅信を通して一人ひとりと与えられます。そして聖霊は、わたしたちの心の中に入つて、わたしたちの心を開き導いて、わたしたち一人ひとりを他の人々に出会わせ、その出会いの中でイエス様の御心を実現させていきます。争いや分裂の悪を自覚させ、愛の心をもって争いと憎しみを克服し、交わりを回復していくのです。人々を分裂・分断するのではなく、人々を結び合わせ、生かすのです。嫌いにするのではなく、愛する・共に生きる、に導くのが聖霊なる神様です。危機的な状況が押し迫る現代社会に一番求められているのが「わたしは聖霊を信じます」の信仰だと、わたしは信じています。

ある。そうしてこの刑罰のことに重いわけは、これを受けし者がその刑罰たるを解し得ないことである。」内村鑑三「一日一生／五月九日」より（注：「観面」とは「天罰観面」というように用いられる。ある事の効果がすぐに現れる様子の意）。

最近の新聞やテレビで見

束していませんし、被災地の仮設住宅を出ることが出来ない方々がたくさんおられます。この出来事の不当性は先日福井地裁判決において、明確に指摘されました。この世の出来事すべてを「人の心」に還元することは間違っているかもしれないませんが、多くの部分でその様に言うことができ

う特徴をもち、それが社会を大きく損なう結果になるのです。こうした状況について内村鑑三氏は「神様の刑罰である」と指摘しているわけです。

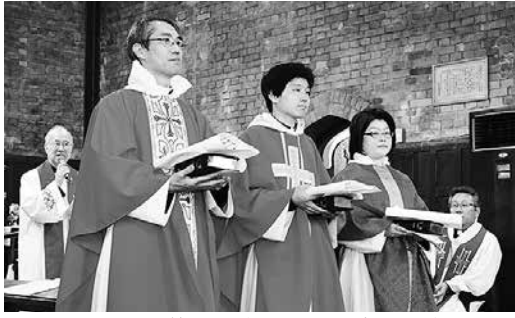
（おく やすのり・退職司祭 聖ルシヤ教会・堺聖テモテ 教会主日勤務）

# 3人の新司祭誕生する！

## 450人が出席し祝福を

初夏を思わせる5月5日(月・休)の朝10時30分から、主教座聖堂・川口基督教会において聖職按手式が行われ450人が出席した。

司祭按手志願者はジョイ千松清美執事、ヨハネ古澤秀利執事、ヤコブ義平雅夫執事の3人。司式はサムエル大西修主教、式典長はペテロ岩城



左より、義平、古澤、千松各新司祭

教を迎えた。

3人の新

司祭の内、

当大阪教区

初の日本人

女性司祭で

ある千松司

祭は、高校

時代から庄

内キリスト

教会に通い

洗礼・堅信

を受け信徒

として教会

の活動で活

躍した。高

校卒業後、

英国に渡り

CM S 宣教師養成校で学んだ

後、聖職候補生に志願、大阪

教区神学生として3年間ウイ

リアムス神学館で学んだ。今

回の按手式に列席されたパメ

ラ・クーパー司祭は、直前に

来日、教区英語イースター礼



拝(4月27日・於大阪聖パウロ教会)で聖餐式の司式・説教を担当された。プール学院同窓生の皆さんも多数来会され復活を祝った。いうまでもなくこのクーパー司祭は千松司祭の出身教会におけるよき

指導者であった。定年退職後、英国に戻られていたが、この機会に合わせ来日された。教区の最年少の聖職である古澤司祭は、中学生時代から Y M C A 野外教室で教会に出会い、住居近隣の聖ルシヤ教会の教会学校生活を始めた。一時、教会を離れたが、ご両親と共に受洗した。病床洗礼を受けた父親は大学時代に他界された。当時、病床で最後まで寄り添い見送った磯晴久司祭の姿に感動したのが聖職志願の直接の動機であった。

障がい者施設で働いた後、聖職候補生志願をし、大阪教区神学生として3年間、聖公会神学院で学んだ。

昨年、執事按手を受けた義平司祭はすでに日本基督教団の正教師として牧師経験や病院チャプレンとしてゆたかな経験を持つ。児童書作家としての著作もあり多彩。聖公会との出会いはチャプレン時代に受けた聖路加国際病院での臨床牧会訓練であった。礼拝や諸式が祈禱書に基づいて執

(次頁3段目につづく)

### ◆ 祝日の聖餐式のご案内 ◆

#### 6月

- 24日(火) 10:30 洗礼者ヨハネ誕生日聖餐式
- 30日(月) 10:30 使徒聖ペテロ・使徒聖パウロ日聖餐式

#### 7月

- 22日(火) 10:30 マクダラの聖マリヤ日聖餐式
- 25日(金) 10:30 使徒聖ヤコブ日聖餐式

#### 8月

- 6日(水) 10:30 主イエス変容の日聖餐式
- 15日(金) 10:30 主の母聖マリヤ日聖餐式
- 25日(月) 10:30 使徒聖バルトロマイ日聖餐式

主教座聖堂(川口基督教会)では、教会暦の祝日に、小礼拝堂で聖餐式がおこなわれています。どなたでも参加いただけます。ともに主を賛美し陪餐の恵みにあずかってください。(主教座聖堂参事会)

# 司祭按手のためのリトリート

## 「司祭の道」をテーマに

聖職養成委員長 司祭アンデレ 磯 晴久

去る4月27日(日)午後5時から29日(火)午後4時30分まで、ジョイ千松清美執事、ヨハネ古澤秀利執事、ヤコブ義平雅夫執事の司祭按手のためのリトリートが、新しく生まれ変わった聖ルカ教会礼拝堂(デンプセイ記念館内)にて行われました。テーマは「司祭の道」としました。

27日には内田望司祭からセッシヨン1「司祭の道―祈りの生活」、28日には聖マルコ日聖餐式において原田光雄司祭の説教、松岡虔一司祭によるセッシヨン2「司祭の道―神とのハーモニー」、内田望司祭によるセッシヨン3「司祭の道―聖餐式」、京都教区京都復活教会石塚秀司司祭によるセッシヨン4「司祭の道―イエスと共に」と興味深く、またそれぞれに思いのこもったメッセージを聴かせて頂きました。

29日には、東光学園佐野信三理事長よりセッシヨン5「施設と教会―東光学園の歴史とキリスト教精神の具現化」と題してお話を伺い、午後は大西修主教によるセッシヨン6「聖餐式の作法」と題して、実地指導とそこに込められていた信仰・精神についてお話を伺いました。

快く会場をお貸し下さった聖ルカ教会の皆様と、2泊3日という事で、デンプセイ記念館2階の個室と池田館を宿泊場所として、また食事をご提供くださった東光学園のスタッフと、キャソック姿の黒い集団を興味深く温かく迎えてくれたこどもたちに心より感謝申し上げます。  
(いそ はるひさ・聖職養成委員長)

(前頁よりつづく)

行され、培われた霊性が、牧会現場での働きを支える源泉であると考え、聖公会へ転籍された。関西学院大学大学院神学研究科では、スピリチュアル・ケアを学ばれた。現在、教区の牧会支援委員長として看護師、薬剤師、臨床心理士等専門家と協働して中心的な働きをしている。

説教では、将来合併への道を模索し協働を始めた京都教区高地主教が、次のように語った。

「み心に従い正しくあろうとして、そうあり得ない自分をそのままに受け入れ、それでも、神に従い行こうとする聖職の姿は典型的な雑草オオバコのようなものである。どこにもあり、茎は短く埋まっており、葉は地面にへばりついて生きている。踏まれても、踏まれても与えられた自分の命を生きてゆく。私はオオバコになりたい」と。

3 司祭は当日、大西修主教よりそれぞれ牧師補として勤務している教会の副牧師に任命された。  
(編集部)

## 公 示

救主降生2014年5月5日  
日本聖公会大阪教区主教  
主教 サムエル 大西 修

以下の人事を発令します。

- 司祭 ジョイ 千松清美  
西宮聖ペテロ教会牧師補の任を解き、同教会副牧師に任命する。
- 司祭 ヨハネ 古澤秀利  
高槻聖マリヤ教会牧師補の任を解き、同教会副牧師に任命する。聖ヨハネ学園チャプレン補の任を解き、同学園チャプレンに任命する。
- 司祭 ヤコブ 義平雅夫  
大阪聖アンデレ教会牧師補の任を解き、同教会副牧師に任命する。

## 公 示

救主降生2014年4月24日  
日本聖公会大阪教区主教  
主教 サムエル 大西 修

以下の人事を発令します。

- 司祭 ペテロ 岩城 聰  
5月1日付で、三光事業団のチャプレンに任命する。
- 主教 ヤコブ 宇野 徹  
5月1日付で、東豊中聖ミカエル教会、大阪城南キリスト教会、及び聖ガブリエル教会における囑託の任を解く。

# 川口基督教会 大屋根修繕工事竣工に感謝

司祭 ペテロ 岩城 聰

5月18日(日)に、大阪教区主教座聖堂・川口基督教会で、昨年来続けられていた大屋根修繕工事が完成し、雨漏り・漏水が完全になくなったことを感謝する礼拝と祝会が行われました。2012年春にとくにひどい雨漏りが発見され、2013年2月11日に第一期工事が始まり、大阪神淡路大震災の損壊からの復興工事の際に、屋根までは手が回らなかつたことがその遠因でした。第一期工事は5月20日に一応完成し、新しく作られた屋根が美しい姿を現しましたが、その後、塔屋からの漏水が発見され、夏に第二期として漏水防止工事が始まりました。そして、昨年秋には二期工事も終了しました。そして、12月には『ゴスペル・イン・文楽』と題して、イエス・キリストの生涯をテーマにした新作文楽のチャリティー公演が礼拝堂で行われ、6

00人の方が川口基督教会を訪れ、たくさんの方の支援をいただきました。今回の竣工感謝礼拝は、何よりもまず、この計画を祝福し、お守りくださった皆さまに感謝をするためでした。そして工事に一区切りをつけるとともに、これまで援助してくださった皆さま、第一に川口基督教会と大阪教区の信徒の皆さま、さらに、個人で献金をお寄せくださった皆さま、



祝会で挨拶する大阪府来賓

## プール学院 135 周年記念 英国ツアー 大阪で種を蒔いた英国人宣教師 ゆかりの地を訪ねる

◆期間 2014年10月6日(月)～14日(火) 7泊9日

◆費用 397,000円(消費税別)

◆主な訪問地(分かれて訪問することもあります。)

- ロンドン、セブンノクス(バーカー先生ゆかりの地)
- カンタベリー(世界の聖公会一致の象徴・中心地、大聖堂)
- ヨーク(英国聖公会のもう一つの管区ヨーク管区の中心地、イブリン・ロー先生とパメラ・クーパー先生の現住地、大聖堂)
- ウインチェスター(フォス先生ゆかりの地、大聖堂)
- ストラトフォード・アポン・エイボン(シェークスピアゆかりの地)
- コッツウォルズ(風光明媚な農村)

【企画】岩城 聰(大阪教区川口基督教会牧師、元プール学院チャプレン)  
岩坂正雄(前プール学院理事長)  
鈴木光子(プール学院同窓会理事長)

【協賛】日本聖公会大阪教区  
学校法人プール学院  
一般社団法人 POOLE(同窓会)

【旅行取扱】(株)ウェンズ 松代洋子(プール学院短大英文科11期生)

◆申込期限: 8月29日(金)

◆申込および問合せ先:

(株)ウェンズ 松代洋子 TEL: 03-6380-4471  
川口基督教会 牧師・司祭 岩城聰 TEL: 06-6581-5061

補助金でお世話になった大阪府教育委員会、設計と工事を願った一粒社ヴォーリズ建築事務所と成和工建、文楽関係者の皆さまなどに、感謝の気持ちを表すために行われました。

礼拝には教会・教区の信徒、関係者など150人が参加し、喜びを共にしました。大西主教は日本でたくさんの方の教会建築を通じて神さまの栄光を現

したワイリアム・メレル・ヴォーリズの働きを紹介し、ヴォーリズが「神さまの番頭」としての自覚を持って、自分のためにではなく、神のために働いたことを印象深く語られ、参加者の心を揺さぶりました。礼拝では、2人の方の堅信式も行われ、さらに喜びが加えられました。これで一応の区切りが付けられました。持にはさらに課題が山積しており、引き続き「教会建物長期修繕プロジェクト」が発足しています。また、教区からの借入金を完済するという課題もあります。主の導きと励ましによって、これらの課題を成し遂げることができま

ように。  
(いわき あきら・川口基督教会牧師)

シリーズ 聖公会関連施設紹介 ― ②

聖公会生野センター

日々歩んでいます

総主事 呉 光現



1992年に聖ガブリエル教会の復興と共に活動を開始しました。以後22年間紆余曲折ありながらもここまで働きを続けてきたことは感謝です。特に6年前に現在の場所に移転してから、いろいろな人が出入りするところになりました。旧約聖書にある「種々雑多」な人々かもしれません。

在日の高齢者のハルモニと知的障がいのある人が食卓を共にし、韓流ドラマにドキドキしながら、その横では精神障がい者が将棋やカラオケを楽しんでいます。自慢は毎日手作りのお昼ご飯を提供していることです。独居の高齢者や独り住まいの障がい者が共に食卓に着くことはとても大切

なことと気づきました。そして暗くなつてからは韓国語の学びに地域の人が訪れます。

センターの願

いは当初より「地域の人々と共に歩むこと」です。これは22年たった今も変わりはありません。近頃は学生も国境を越えて学びに来る場にもなりました。



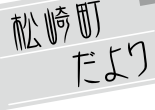
韓国ナザレ大学からの訪問

それを通して生野地域や在

日の人々のことを教会で分かち合いたいと願うものです。近年の「ヘイトスピーチ」によって在日の少くない人が心を痛め、「萎縮」させられています。弱いものを貶められてさらに攻撃する。いつから日本社会はこのような醜い部分を持つてしまったのでしょうか？弱い人は「弱くされた人」でもあります。聖公会生野センターに出入りする人々は何らかの重荷を背負っています。私たちはこの重荷を少しでも軽くできるお手伝いをしたいと願います。

(おう くわんひょん)

牧師には枕する所がある



「狐には巣がある。だが、人の子には枕する所もない。」

と主イエスは言われました(マタイ8:20)。公生涯に入られてからは東奔西走の日々、ゆつくりお休みになることもできず、まさにこ

の世の旅人として、ホームレスに近い生活をなさっておられた主イエスでした。

それと比べ、わたしのこれまで70年間の日々を振り返ってみますと、住まいで困ったことは一度もありませんでした。戦時中の1944年、疎開先(母親の在所)の蚕室で生まれて以来、今日まで、牧

師館という恵まれた住まいが常に与えられてきました。ごく当然のこととして、何不由なく過ごしてこられたことを今改めて思うとき、感謝の念でいっぱいになります。

これまでいくつかの牧師館に住みました。週日は牧師館として生活していた所も、主日と集会のある日には礼拝堂、集会室に早変わりしました。6畳ひと間に6人、箆笥があり、二段ベッドの上下に子

ども二人ずつが寝て、その脇で夫婦が寝るといった生活が10年近く続いた牧師館は、夏とても暑い所でした。それとは反対に、8部屋もある広い牧師館(旧女子寮)も体験、子どもたちは念願が叶い、ひとりひとり8畳の部屋を確保したものの、冬は氷点下の寒さのため、相部屋が暖かくて良いと逆戻りすることもありました。その他にも1畳以上

もの豪雪に覆われ、戸やふすま・障子が開かない、そんな牧師館もありました。いずれにせよ、この時代、牧師は住まいについて何の心配もなく働くことができ、本当に恵まれていると思います。

わたしも10カ月後にはホームレス、人生で初めて住む所を探すという経験をする事になりそうです。(主教サムエル大西修)

**台湾聖公会創立60周年記念行事に参加して**  
**大阪教区訪問団の報告**

司祭 ペテロ 竹林 徑一

4月26日に台湾・台中市で行われた礼拝・祝会を中心に、部分参加も含めた28人が、4月24日～29日花蓮・台中・台北のツアーをしました。以下は、皆さんの感想文を繋いでできたレポートです。

皆様との出会いは、本当にときどき、はらはらでした。合流のため台北駅で頼榮信主教夫妻と待っていましたが、発車10分前になっても皆様



台湾記念礼拝会場前で訪問団一行

うちの旅が始まりました。太平洋側を南下する車窓から見える、台湾の町のビルや街並みのあまりきれいと、言葉は言えない景色と（ひとけ）の無さ、海岸近くまで迫った高い山々に驚きました。翌日西側の台中に着き大都市ぶりを目にし、東側との違い、格差にまた驚き、東側は過疎だと思いついて、そうなんだと思いました。

初日の夕食後、部屋でくつろいでいたら、花蓮の聖ルカ教会の呉明龍司祭が、信徒代表の方とたくさんのお土産を持って挨拶に来て下さったのは、恐縮しました。翌朝、教会の外観を見学してから、太魯閣溪谷へ向かいました。歳月を経て変化を続ける断崖絶壁と、その間を優雅な曲線を描きながら流れる青々と澄みきった溪流を左右に見つつ、蛇行して行く観光バスと徒歩コースからのパノラマ風景は、必見の眺めでした。

台中市忠信國民小學大禮堂での台湾聖公会60周年記念行事に参加して、子供たちによる和太鼓演奏のオープニング、聖公会信徒の情熱と、式典に全力を注がれる頼主教たちの迫力に満ちた進行に、圧倒されました。用意された台湾聖公会の信徒さんとお揃いの、濃い紫のポロシャツの胸ポケットには、赤の刺繍に金色の十字架。舞台も客席も、同じ色に染まっていた友好のひとときでした。

お香が、要素要素で清めるように焚かれていたのが印象的でした。言葉は分かりませんが、聖公会の（礼拝）様式です。ついてゆけました。交流延長契約の調印後の「平和の挨拶」は、まさに待っていたかのように皆様と握手、握手の連続でした。喜びと感謝の中で聖餐を受け、礼拝が終わりしました。昼食後の各教会の出し物では、台湾の方々、特に幼稚園の先生、子供たちの歌、ダンス、どのメロディも明るく、軽やかなもので、歌詞の意味は分からなくとも、楽しい雰囲気をお届けしていました。リズム体操、楽器演奏、音楽劇もあり、幼児から若者、高齢者まで、明るく強烈でパワフルな、よく準備されたパフォーマンスの連続でした。また、台湾聖公会と大阪教区の友好を記念して、辻彩乃さんが作られた「ともに」（一起）は、現地であってみると（日本語と中国語両方の歌詞で）、ほんとにその場にマッチした素晴らしい歌であることが、よくわかりました。

日本語の出来る方々が常に



「ともに」を合唱

優しくサポートして下さい、青年たちのアツシャー等「おもてなし」により、人々はまたそこに行きたくなりますし、何より「おもてなし」は教会の中の信徒が仲良く、充実した交わりを持っているからこそ、実現できることなのかもしれないかもしれません。お抹茶とお菓子、茶器を持参しての当方の「おもてなし」の心も、あわただしい中でしたが、少しは感じ取っていただけたかと思っています。これからもこうした交流が続く、ともに学び、力を合わせられますように。主に感謝。

阪聖ヨハネ教会牧師

大阪教区 婦人会

「昇天日礼拝」総会「開かれる

ルツ 八木 愛

5月の爽やかな風というには少々汗ばむ陽気となった5月29日(木)、城南キリスト教会にて大阪教区婦人会の2014年の昇天日礼拝と総会が開催されました。

今回は第90回を記念する総会となり、テサロニケの信徒の手紙15・16-18の「いつも喜んでいなさい。絶えず祈りなさい。どんなことにも感謝しなさい。」との聖句が添

えられたクリアファイルが記念品として配られました。

教区婦人会チャプレン・内田望司祭は説教の中でこの聖句にふれて「神学者のヘンリー・ニューマンが著書に記されている『キリストの香りを放つ』こと。婦人会に期待されている事をあらわしているのではなからうか?」と述べられました。

大阪教区 教区礼拝

と き：2014年 9月28日(日)10:30~

ところ：プール学院中高 清心館

説教者：サムエル 大西 修主教

年に一度、ともに集い、皆さんで神様を賛美しましょう。

午後からは楽しいプログラムがあります。

でも「天から下り、天に昇られたイエス様の生涯を示すVサイン。イエス様が天に昇って遠くへ行ってしまうわれた日ではなく、私たちの中に来て下さったことを大切に思う日。いつの日か、天でイエス様司式の聖餐式にあずかることを信じる日」とお話しなさいました。



世界の窓

◎マイノリティーの役職者増加の為に…英国教会の新しい計画

英国教会は、上級職に就くマイノリティー出身聖職者を増加させることを目的とした新しい構想に着手している。「ポリウムをあげよ」と呼ばれるこの試みは、主教会によって発案され、ロチェスター教区主教ジェームズ・ラングスタッフ神父が担当し、信徒と教役者の12人で構成されているチームと共に活動している。このチームは、少数民族出身のキリスト教徒が上級職任命を阻まれていると思われる原因を調査することになる。ラングスタッフ主教は「私がこの計画を担当するように依頼されたとき、これが英国教会の為だけではなく、我々の国家への宣教の威信にも繋がるものであると確信した。マイノリティー出身の高級聖職者が少なすぎるかぎり、教会が全ての国民の全ての人々の為であると理解されることはないだろう」と語っている。

(The Voice: May 29th, 2014)

◎米国では韓国生まれの主教補佐が誕生

アレン・シン神父の主教叙階式が、マンハッタンにある教区主教座聖堂セント・ジョーンズ・ザ・デバイン教会において執り行われ、韓国生まれの補佐主教が米国聖公会ニューヨーク教区に誕生した。補佐主教は聖職者と信徒による選挙で選出されるもので、彼は昨年12月に選出されていた。シン主教補佐は、1972年に家族と共にワシントンD.C.に居住するようになった韓国からの移民で、1996年にニューヨークのジェネラル神学校を卒業している。叙階式では跪くシン神父を、シヨリ総裁主教をはじめとする主教達を取り囲み、彼に手を置き共に祈りを献げた。(Anglican Communion News Service: May 19th, 2014)

司祭 ヤコブ 松平 功(まつだいら いさお・桃山学院大学チャプレン)

# キッズフェスティバル 2014 あなたのために…

ヘレナ 斎藤 みち



笑顔で会話を交わしたり、大きい子どもたちが小さい子どもたちに気を配る場面も見られました。青年リーダーも経験を積み重ねることで役割を理解し、中

4月29日(火・祝)川口基督教教会にて「春キッズ・教区子ども礼拝」が献げられました。子ども46人、大人66人総勢112人がテーマである「クリスマスの喜び」を分かち合いました。

午前中は子どもたちの交流を目的としたチーム対抗ゲーム大会。今回は4歳から中学生までの異なる年齢の子どもたちを縦割りで編成し、チームワークを競って盛り上がりました。みんなが同じフロアで過ごしたのでワイワイと賑やかで、参加者全員に一体感が持てました。初めて出会う子どもたちや青年リーダーが、

びに満たされた時に礼拝することが何にも勝る神さまへの献げものになることを共に感じる事ができたのではないのでしょうか。(さいとうみち・石橋聖トマス教会信徒)

## ガザの人々にもっと目と心



低体重の乳幼児

## そして 支援の手を!

大阪教区宣教部  
社会宣教委員会

地中海に面した10km×40kmの細長い土地、パレスチナ・ガザ地区では、170万人もの人々が、「イスラエルの安全保障と、集団懲罰」のために完全封鎖・牢獄生活の苦しみを長期間強いられています。2013年6月の隣国エジプトの政変の影響で、物資の流入が激減し、生活インフラの悪化はさらに深刻化しています。ニュースに見るように、米国主導の和平交渉の働きも、暗礁に乗り上げています。

3月23日に大阪聖ヨハネ教会で、一時帰国して報告・講演をしてくれたJVCパレスチナ現地調整員の金子由佳さんのレポートでも、リアルに苦難の姿が伝わってきました。

大阪教区では、2005年から日本ボランティアセンター(JVC)の働きに協力する形で、教区の全教会で聖霊降臨日「海外宣教の日」に献げられた信施を中心に、主にガザ地区の子供たちの栄養補給事業支援のために継続的に送金し、また

(次頁4段目につづく)

大阪教区子ども礼拝  
キッズフェスティバル2014

さあ、**夏キッズ**へ行こう!

「さあ、ベツレヘムへ行こう。主が知らせてくださったその出来事を見ようではないか」(ルカ 2:15)

2014年**7月21日**(月・祝)  
(10:00受付~15:00)

会場：**川口基督教教会**

夏キッズは、子どもたちがつくる礼拝ワークショップ  
**キッズオルガニスト募集!**

問い合わせ・参加申し込み：  
斎藤みち(生涯学習委員会 子どもプロジェクト担当)  
06-6854-8657(石橋聖トマス教会)

主催：大阪教区 宣教部生涯学習委員会



特別寄稿

原発問題についてのQ&A ⑥

日本聖公会・原発と放射能に関する特別問題プロジェクト

【6】放射性廃棄物はどうなるだろうか

と呼び、一つの原子炉には2万本から6万本の核燃料棒が入っています。

原発の燃料となるウランは、鉱石として採掘され、製錬、転換、濃縮、再転換の過程を経て、直径1センチ長さ1メートルの円筒形(ペレット)のウラン燃料に成型加工され、ジルコニウム合金で作られた管に密封されます。これを「燃料棒」

原子力発電所で大量に生み出される使用済核燃料の毒性は、地球上の毒物の中でも群を抜いていて、10万年にわたって環境からの隔離が絶対条件となります。まず崩壊熱で核燃料棒が溶けないように原子炉建屋内の貯蔵プールで数

年間冷やされ、取り出されて再処理工場へ送られます。ここでウランとプルトニウム(これは原爆製造に転用可能)を取り出し、残りの液状廃棄物をガラスと一緒に高温で溶かし、高さ34センチ、直径43センチのステンレス製容器(キャニスター)に詰めます。これが「高レベル放射性廃棄物」で、即

ず、今後10万年の間、地層処分可能な地質環境が我が国に存在するかどうか疑問を持つ学者もいます。ヨーロッパと違い地震が多発し、地下のどこを掘っても水が噴出する日本では高レベル放射性廃棄物の地層処分はそもそも不可能なのです。何よりも私たちの想定可能な歴史的時間を超えた10万年もの安全を主張することこそが人間の傲慢の証しではないでしょうか。

レベル放射性廃棄物」として処理されます。ドラム缶に入れセメントで固め、地下4メートル以上深く掘った鉄筋コンクリートの穴に埋め、300年間管理し続けることになっています。

燃料棒の管、制御棒、配管などの廃材、廃液やフィルター、防護服等々、人体に影響を与えるレベルのものは「低

「未来というゴミ箱に核のゴミを捨てている」とは倉田聰氏の言葉です。

大阪教区連合男子会 結成50周年記念礼拝・祝賀会

日時 2014年 8月9日(土)午後2時~ 10日(日)午前8時

場所 六甲保養荘 (西宮市越水社家郷山)

費用 10,000円 (1泊2食付き) 但し、日帰りの方は8,000円

記念礼拝

聖餐式 司式 大西 修主教 説教 岩城 聰司祭

記念講演会 大西 修主教

記念パーティー

- ・今後の10年を踏まえ記念のひとつときを、多くの仲間が集って共にお祝いしたいと思います。
- ・男子会員だけでなく、婦人会、青年の方もお誘い合わせのうえ、ご参加下さい。
- ・お申し込みは、各教会代議員に6月29日までに

これを処理施設で一時(30~50年)貯蔵し、その後地下300メートルの岩盤の中に埋め、放射能が低くなるまで数万年以上も保管し続けるという構想(地層処分)があります。しかし最終的な処分策・技術は必ずしも確立しているとは言え

動を展開しています。

遠隔地の我々にできることは、金銭物資の支援に加えて、新聞・TV・インターネット等を通して常に最新の状況を知り、見つめ、多くの人々に伝えることです。イエス様が歩まれた土地で、今何が起きているのか、神様はそれをご覧になられているのかというところに思いを至らせることが、実は最も大事なのだと思います。



フランチェスコ成岡宏晃さんとセシリア山崎恵実さんの聖婚式は、5月10日(土)川口基督教会において、司式・大西修主教、立会人・磯晴久司祭ご夫妻で挙行されました。当日は天候にも恵まれ聖堂はいっぱいの列席者で埋まりました。説教者の前田良彦司祭(東京教区聖マーガレット教会)は説教の中で、まったく異なる環境で育った二人がお互いを大切にしながら生きることの難しさを語られました。

## 「ご聖婚おめでとぅ」ございます

聖職候補生 成岡宏晃さんと山崎恵実さん

ヤコブ 小出 裕司

た。しかし一方で、福音宣教の現場に遣わされるということとは、他者の人生すべてを大切にすることであると述べられました。

これから宣教の現場に臨まれる成岡聖職候補生に、良き伴侶があたえられたことを神様に感謝します。お互い協力して神様に祈り、一步一步前進されますことを祈ります。

行く道の途中で判断に迷うことがあれば、どうぞ抱え込まずに相談し、無理せず助けをもとめて下さい。お連れ合いの恵実さん、関西は不案内と思われます。しっかり支えてあげてください。ご夫婦は多くの友人、協力者を持つておられ羨ましい限りです。大切にしてください。新しいご家庭の上に神様からの豊かな祝福がありますようにお祈りします。人を恨まず、すべての人に感謝、感謝の日々でありますように。

(こいで ひろし・大阪聖アンデレ教会信徒)

## 大阪教区 礼拝・音楽委員会 聖布ししゅう会

7月15日(火) 10:30~15:00  
教区事務所 2階にて

持ち物：昼食、お茶、  
裁縫箱など普段使用しているものはさみ、ものさし、筆記具など

- 基本的に、毎月第3火曜日に行われますが、行事などにより、変更される場合もあります。

詳しいお問い合わせなどは下記まで。  
教区事務所 (Tel: 06-6621-2179) または、  
礼拝・音楽委員会(オルター奉仕刺しゅう会担当)

## OK委員会はいま??

大阪教区と京都教区の合併を推進する委員会報告

執事 出口 崇  
す。 推進委員会  
は2カ月に1  
度開催され、  
それまでに各  
作業部会に分  
かれて検討、調査を行ってお  
ります。「教区報同一記事」  
もそうですが、すでに共同で  
開催されているプログラムも  
多くあります。長年京都教区  
が行っていた小学生や中高生  
を対象としたキャンプなどの  
プログラムには両教区の教役  
者、青年たちがすでに関わっ

前回から、大阪、京都の両教区報に同じ内容を掲載させていたことになりました。京都教区報には2カ月に1度の掲載になります。合併推進委員会ですので、将来的に教区が一つになった時のことを念頭に各作業部会で検討を重ねております。両教区が同一の記事を掲載することもその働きの一つです。ホームページの統一なども検討されております。

ており、春のJ's キャンプは昨年から大阪教区との共催となっております。今後は大阪教区の「キッズフェスティバル」に京都の青年や教役者も企画段階から関わる予定です。聖公会全体の青年活動U26などに参加している若い世代にとつては、二つの教区の垣根はとて低く、キャンプに参加している子どもたちも「教区のカラーの違い」という発想はありません。

各作業部会も、与えられたタスクを粛々と行っております。中でも財政部門は、両教区の財政担当者がそれぞれの具体的な数字を用い、教区分担金や教役者給与、委員会経費など様々な分野を検証し、どちらかの教区のスタイル、もしくは新しいスタイルなど、より良い形を模索しております。合併のメリットである「お互いの教区のことを知ることを」をすでに具現化しており、不安はもちろんあるけれども、より良い形になるのではという希望を抱きます。

(でぐち たかし・OK推進委員会広報担当・京都教区執事)

教区の動き

常置委員会報告

4月11日(第6回定例)

I. 主教報告  
及び諸報告

\*大阪教区が大宗連議長教団を務めることになった。2014年4月より2年間の任期。議長:大西修主教、事務局長:竹林徑一司祭、事務局:米虫克次氏

II. 協議事項

\*第112(臨時)教区会(主教選挙)書記に岩城聰司祭、古澤秀利司祭を選任。  
\*聖ガブリエル教会納骨堂認可手続きについて

5月15日(第7回定例)

I. 主教報告  
及び諸報告

\*5月5日の司祭按手のためのリトリートが4月27日~29日、聖ルカ教会礼拝堂で行われた。

II. 協議事項

\*千松清美執事、古澤秀利執事、義平雅夫執事の司祭按手式が5月5日主教座聖堂川口基督教会で行われ、同日付で各教会の副牧師に任命した。  
\*台湾聖公会創立60周年記念式典(4/24~28)に大阪教区から28人が参加。  
26日(土)記念礼拝の中で、2017年までの第4期宣教協働関係締結書を交わした。

教会・施設の動き

聖贖主教会  
○5月12日よりエレベーター設置工事が始まりました。玄関を入れてすぐの女性トイレを改装し、そこに設置されました。

を受け承認。  
\*教区礼拝(9/28)で合同堅信式を行いたいとの諮問を受け、宣教部会の企画のもと実施することを承認した。  
\*教役者夏期手当について、財務委員会から原案が提示され承認。

大阪聖パウロ教会

○去る5月10日(土)第20回JOCスパザーが当教会全館で開催された。500人に近いJOCSS会員・ボランティア、教会・ミッションスクール・YMCA関係者や一般市民が来場した。当教会員のみか入居団体のスタッフも総力を挙げて協力し盛会裡に終わった。

愛の園・深和ホーム

○去る6月12日(木)午前10時から「深和ホーム」チャペルで田辺地区・超教派牧師会・祈禱会が開かれました。  
○7月14日(月)から18日(金)までウイリアムス神学館の全神学生(9人)と指導教員2人が夏期実習をいたします。

桃山学院大学

○7月12日(土)午後2時から第18回チャペル・コンサートが行われます。テノール歌手の畑儀文(はたよしふみ)氏とオルガニストの久保真矢氏の共演です。入場無料です。

「信徒の学び」出張講座のご案内

なぜ礼拝するのか?  
なぜ歌うのか?

中部

2014年7月27日(日)14時~16時(受付13時半~)

川口基督教会 Tel. 06-6581-5061

南部

2014年8月31日(日)14時~16時(受付13時半~)

堺聖テモテ教会 Tel. 072-261-2015

参加費無料

持ち物: 祈禱書、聖歌集

事前の申し込みは必要ありません。どちらも同じ内容です。

お問い合わせ: 大阪教区事務所 Tel. 06-6621-2179

大阪教区 宣教部 礼拝・音楽委員会と生涯学習委員会共催

2014 教会音楽祭 in おおさか  
合唱メンバー募集

日時 2014年9月23日(火・秋分の日)午後2時~4時

場所 カトリック阿倍野教会  
(大阪市阿倍野区松崎町3丁目6番25号)

第2回「教会音楽祭 in おおさか」が9月に行われます。「教会音楽祭 in おおさか」は、大阪にあるキリスト教の教派が賛美を通じて交わりを深めるエキシユメニカルな集いです。聖公会(大阪教区)は、下記の聖歌3曲を歌う予定です。楽しいひとときを過ごしましょう!ご参加をお待ちしております。

《曲目》聖歌 第374番、第555番、第243番

練習スケジュール

8月23日(土)11時~12時 川口基督教会

9月23日(火・祝)11時~12時 大阪教区事務所

教区関係教役者

逝去者記念聖餐式

◇ 7月9日 (水) 午前 11 時  
 於 主教座聖堂 (川口基督教会)  
 説教者 司祭 ヨシュア 原田光雄  
 司 祭 ウォルター・J・エドモンズ (1889.7.1 英)  
 伝道師 野村 志津 (1997.7.1)  
 宣教師 エリザベス・メータ・ソフィー・ヒューボルト (1934.7.5 英)  
 主 教 パウロ 久保淵 豊彦 (2006.7.12)  
 主 教 アーサー・ウイリアム・プール (1885.7.14 英)  
 宣教師 オクタビア・ジュリアス (1942.7.15 英)  
 宣教師 エミリー・サンドル・フォックス (1942.7.20 英)  
 司 祭 ヨハネ 木川田 正毅 (1990.7.20)  
 司 祭 堀江 議作 (1928.7.21)  
 執 事 永田 保治郎 (1941.7.21)  
 伝道師 中村 貞子 (1953.7.23)  
 宣教師 エセル・アグネス・カーライル (1957.7.23 英)  
 司 祭 西田 弥吉 (1945.7.24)  
 宣教師 ジェーン・アン・スタベリー (1963.7.24 英)  
 司 祭 サムエル 堀江 光児 (1990.7.25)  
 主 教 マルコ 小池 俊男 (2011.7.28)  
 宣教師 ロレッタ・レオナルド・ショウ (1940.7.29 英)

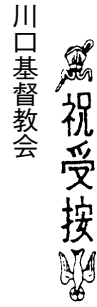
◇ 8月13日 (水) 午前 11 時  
 於 主教座聖堂 (川口基督教会)  
 説教者 司祭 パウロ 井上進次  
 主 教 エドワード・ピカステス (1897.8.5 英)  
 主 教 ヘンリー・セントジョージ・タッカー (1959.8.8 米)  
 宣教師 アグネス・S・ウイリアムス (1970.8.9 英)  
 司 祭 ヨハネ 桜井 猶次郎 (1945.8.10)  
 主 教 ペテロ 藤本 寿作 (1969.8.10)  
 宣教師 シルビア・ルイス・ケンドール・ブッシュ (1966.8.11 英)  
 司 祭 関 翔 (1953.8.18)  
 宣教師 キャサリン・アリス・サルヴイン・トリストラム (1948.8.24 英)  
 伝道師 ルツ 中村 光尾 (1978.8.30)

\*教役者逝去記念聖餐式は、毎月第2水曜日午前 11 時から、主教座聖堂 (川口基督教会) で行われます。ご関係の有無にかかわらず、どうぞ自由にご参加ください。



祝受洗

恵我之荘聖マタイ教会  
 クリステイーナ 大野 有紀



祝受按

グレース  
 米津 弘子

(5月12日)

川口基督教会

アツシジのフランシスコ

大方 栄

(2月2日)

大阪聖愛教会

フィリポ 松本 忠

(4月20日)

サラ

マリア・アグネス

松澤 綾子

(5月18日)

堺聖テモテ教会

ソフィア 黒田 愛梨

(4月20日)

石橋聖トマス教会

エリサベツ

ダビデ

木村 愛泉  
 小松 翔馬

庄内キリスト教会

シモン 角田 陽一

(5月11日)

大阪聖ヨハネ教会

モーセ 中村 有治

テモテ 長谷 祥司

(5月25日)

魂の平安を祈ります

川口基督教会

ルツ 平田 美鳥

(2月9日・77歳)

大阪聖愛教会

ドーラ 武市 温子

(4月24日・81歳)

オーガスチン 白石 寿一

(5月4日・80歳)

大阪聖アンデレ教会

マリヤ 中川 倫

(3月2日・101歳)

芦屋聖マルコ教会

ハンナ 馬場 陽子

(4月14日・94歳)

司祭 サムエル 樋口 隆照

(京都教区・4月21日・78歳)

バルトロマイ 森田 和吉

(4月26日・78歳)

東豊中聖ミカエル教会

アン 葛野米利子

(5月5日・76歳)

ザカリヤ 青柳 哲夫

(5月19日・89歳)

大阪聖パウロ教会

グレース 米津 弘子

(5月12日・90歳)

石橋聖トマス教会

ルツ 田邊美恵子

(5月24日・78歳)

教区報436号訂正

※ 4月20日発行の教区報第436号の訂正は以下の通りです。お詫びします。

8頁・OK委員会はいま  
 4段 28行目

(誤) 各ワーキング  
 (正) 各ワーキング

編集後記

京都教区との協働の一つとして、両教区の広報担当者による懇談会を行いました。

まず情報の共有からスタートします。「OK委員会はいま??」の連載を開始しました。両教区の合併を推進する委員会の広報担当者が交互に担当します。

(広報委員会)